

井原市民病院広報誌



井原市の草花 パンジー

# 病院だより

日本医療機能評価機構 病院機能評価3rdG : Ver2.0認定



2026年(令和8年)  
2月発行



美星町の雪景色

井原市民病院基本理念

すべては患者さんと地域のために



井原市マスコットキャラクター  
でんちゅうくん

内科

循環器内科

小児科

外科

整形外科

眼科

消化器外科

脳神経外科

耳鼻咽喉科

リハビリテーション科

放射線科

皮膚科

泌尿器科

産婦人科

救急科

# 新年のご挨拶

本年もよろしくお願い申し上げます。



病院事業管理者  
さいとう しんや  
齋藤 信也

2026年（令和8年）の年頭に当たり、ご挨拶申し上げます。

本年は午年ですが、十干十二支でいうと60年ぶりの丙午（ひのえうま）ということになります。職員の皆さんの中で医療系の職種の方は、ひょっとしたら養成学校での講義の中で、人口ピラミッド（人口静態）というものを習う際に、1966年の出生数が異様に少ないことの説明として、丙午の話を聞いたかもしれません。かつては迷信として丙午生まれの特に女性は、火災関係の災厄をもたらすということがまことしやかに流布し、それが影響したというのが定説です。これはおそらく八百屋お七の話に由来する割合新しい迷信です。そもそも干支の老家である中国には丙午をその

ように扱う故事はないようです。

むしろ丙は陰陽五行説の火の兄ということで、太陽のエネルギーに満ち溢れている状態ですし、午は正午や午前、午後という言葉からも分かるように、お昼の十二時ということです。つまり、丙午は活力に満ち溢れた正午を意味しています。

そうすることで、さすがに令和の世になって丙午生まれが減ることはないとは思いますが、むしろそうした力にあふれる年になるはずで、それにあやかりまして、本年が井原市民病院にとりましても、活力に満ちた病院が大きく発展することを願っております。

本年が皆様にとっても、素晴らしい年になることを祈って、年頭のご挨拶といたします。



院長  
まえだ てつや  
前田 徹也

2026年（令和8年）の新春を迎えるにあたり、皆様に心よりご挨拶申し上げます。新しい年が、皆様にとって穏やかで健やかな一年となりますようお祈りいたします。また、日頃より井原市民病院を温かく支えてくださり、深く感謝申し上げます。

近年、人口減少や高齢化、物価やエネルギー価格の上昇など、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。全国的にも多くの病院が厳しい経営状況に置かれる中、当院も例外ではありません。しかし、こうした状況だからこそ、地域の皆さんの健康と暮らしを守るという役割をより大切にしていかなければならないと感じています。

当院では、2023年（令和5年）12月に策定した「井原市民病院経営強化プラン」に沿って2027年度（令和9年度）までの経営改善に取り組んでいます。2025年度（令和7年度）からは職員による経営改善チームを立ち上げ、現場の声を生かしながら、経費の見直しや収益向上に向けた取り組みを進めています。こうした活動は、すべて「より良い医療をこれからも続けていくため」に欠かせないものです。

2025年度上半期には、地域のニーズに合わせて病床数を150床から139床へと見直し、より効率的で過ごしやすい療養環境づくりに努めました。また、救急搬入件数や内視鏡検査・治療や化学

療法や手術件数の増加に取り組んだ結果、入院・外来ともに患者数が増え、医業収益も前年同期比で11.8%増加いたしました。一方で、人件費の上昇などにより、全体の収支は依然として厳しい状況にあります。

救急医療については、「できるだけ断らない医療」を目指し、春から毎週月曜日に救急症例検討会を始めました。その成果もあり、救急応需率はこれまでの75%前後から85%へと改善しています。地域の皆様の「困ったときに頼れる病院」でありたいという思いを職員全員が共有して取り組んだ結果です。

また、2025年（令和7年）9月には岡山救急医療研究会第26回学術集会を主催し、10月には病院機能評価の受審を行うなど、地域に根ざした安全で安心できる医療の提供に向けた取り組みも進めています。

これからも厳しい環境が続くことが予想されますが、「すべては患者さんと地域のために」という当院の理念は変わりません。皆様に寄り添い、温かさのある医療を提供し続けられるよう、職員一同力を合わせてまいります。本年もどうぞ変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



副院長 内科医長  
しまだ もりぞう  
島田 百利三

2026年（令和8年）が始まりました。皆さんは年始めのこの時期をいかがお過ごしでしょうか。

当院では、昨年2025年（令和7年）10月に病院機能評価の更新審査（3rdG：Ver.3.0）を受審しました。今回で5回目の受審になりました。提出する膨大な書類を各部署で事前に準備し、業務の確認や見直し、カルテレビューやケアプロセス調査への対応をすすめ、終盤はかなり慌ただしくなりましたが、無事に受審することができました。本稿の執筆時点（1月初め）で、最終的な審査結果はまだ届いていませんが、日々の業務について、あらためて見つめ直す良い機会になったと思います。

昨年来、様々なメディアで全国の病院の経営状況が非常に悪化していると報道されています。総務省の発表によると、2024年度（令和6年度）に自治体が運営する全国678の公立病院のうち、経常赤字となった病院の割合が83.3%と過去最大に

なりました。当院でも多くの職員が地域住民の方々の信頼に応えるべく一生懸命に働いて、医業収入は増加傾向ではありますが、材料費・光熱水費・人件費などの支出はそれを上回っていて、構造的な赤字になっています。自治体病院である当院では、職員の給与は人事院勧告に沿って決まり、その上昇分は診療報酬ではほとんど補われていません。2026年度（令和8年度）は、2年に1度の診療報酬改定があります。今のところ本体部分で2年間平均で+3.09%のプラス改定、そのうち賃上げ分で2年間平均+1.7%と言われています。病院の経営努力はもちろん必要ですが、地域医療を守るためにも適正な改定が必要だと思います。

2026年（令和8年）も前年と同様に様々な困難が予想されますが、多職種で協力して助け合いながら、地域の皆さんの医療ニーズにできるだけ応えられるように努めていきたいと思っています。今年もよろしくお願いたします。



副院長  
看護部長  
みやけ いずみ  
三宅 泉

2026年（令和8年）が始まりました。今年は60年に一度巡ってくる丙午の年で、「情熱、行動力、華やかさ」が象徴されると言われています。

この3つの語源を知った時、我々看護の仕事にとっても結びついていると思いました。看護師は、患者さんやご家族に対する思いやり、即ち情熱が最も大切です。また、確かな行動力で現場を支え、さまざまな学びの習得へ絶え間なく挑戦し続けています。さらに、華やかさは単なる外見ではなく、笑顔や温かい言葉で周囲を明るく照らす力を意味するのだと思います。今年も、勢いよく駆ける馬のように前向きにエネルギーに満ちた一年になることを願っております。

昨年度、5回目となる病院機能評価を受審しました。看護部としても、師長会、各委員会を中

心に業務を見直し、質の高い看護が提供できているか、日頃の成果を評価していただき、改めて課題を見つめ直すことができ、大きな学びの機会となりました。今後も患者さんやご家族・地域住民の皆さんへ、より質の高い看護ケアが提供できるよう努めてまいりたいと思っております。

日本看護協会が打ち出す「看護の将来ビジョン2040」は、これからの将来を見据え、看護が進むべき方向性や果たすべき役割が明示されています。その将来ビジョンにもとづき、刻々と変化する社会にも柔軟に対応し、一人ひとりが看護に誇りとやりがいを持って、今年も様々なミッションに挑戦し続けたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いたします。



手術部長  
整形外科医長  
ひらた てつお  
平田 哲男

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より当院手術部門の運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の医療技術の進歩は目覚ましく、低侵襲手術（体に負担の少ない手術）の普及や医療機器の高度化により、かつては困難とされていた症例に対しても、より安全で確実な治療を提供することが可能となってまいりました。当手術部におきましても、最新の知見を取り入れ、患者さんの早期社会復帰を支えるべく、日々研鑽を積んでおります。

しかし、いかに技術が進歩しようとも、手術医療の根幹にあるのは安全と信頼です。手術を受けるということは、多くの患者さんにとって人生の大きな節目であり、大きな不安を伴うものです。私たち手術部スタッフ一同は、その不安に寄り添い、一人ひとりの患者さんが安心して手術に臨める環境

を整えることを最優先事項として掲げております。

本年は、さらなるチーム医療の深化を目標としてまいります。手術は執刀医だけでなく、麻酔科医、看護師、臨床工学技士、放射線技師など、多職種による緊密な連携があって初めて成立します。各専門スタッフがプロフェッショナルとしての能力を最大限に発揮し、徹底したリスク管理のもと、医療を提供できるよう体制を強化してまいり所存です。

また、地域の医療機関との連携もより一層深め、地域完結型の医療体制の中で、当院が果たすべき医療の役割をしっかりと全うしてまいります。「この病院で手術を受けてよかった」と思っただけのよう、スタッフ一同、誠心誠意努力してまいり所存です。

結びに、本年が皆様にとって健康で笑顔あふれる一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

ドック・  
健診部長  
内科医長

くりやま もとあき  
栗山 宗彰

明けましておめでとうございます。

新年度も引き続き、健診者皆さんに安心、安全、そして快適な健診を受けていただくように努めてまいります。

人間ドックの使命である国民の健康増進、生活指導による一次予防と、早期発見・早期治療による二次予防の重要性を認識し、人間ドックの担

当医として資質の向上を図り、健康寿命を延伸するために、質の高い人間ドック・健診を行うことができる、社会に信頼される人間ドック健診医を目指したいと考えています。

また、引き続き内科医としても地域に貢献していきたいと考えます。今年もよろしくお願いいたします。



医療技術部長  
眼科医長  
きしもと ふみこ  
岸本 典子

医療技術部長を拝命してもうすぐ1年が経過しようとしています。

医療技術部は、薬剤科、放射線科、臨床検査科、リハビリテーション科、栄養管理科、臨床工学室、視能訓練士で構成されています。各科部署に国家資格を持った優秀なスタッフがあり、当院を支える重要なポストを担っています。私は、長年、眼科外来の中だけで仕事をしてまいりましたので、他科の業務内容や病院組織全体についての理解が十分でない中、まずは医療技術部について理解を深めることからのスタートでした。幸い、太田医療技術部次長をはじめ、各科の科長、ス

タッフに助けられ、ようやく仕事にも慣れてまいりました。

今年さらには当院の力になれるよう、また、患者さんのお役に立てるよう努めてまいります。個々のスタッフが専門知識と技術をさらに向上させ、また、異なる職種間で緊密な連携をとり、科を超えて協力しあって、地域の皆さんに質の高い安心で安全な医療を提供できるよう、努力してまいります。

皆さん、何かお気づきの点がございましたら、ご指摘、ご指導いただければ幸いに存じます。本年もよろしくお願いいたします。



事務部長  
つぐみ ゆういちろう  
津組 勇一郎

謹んで、新春のお慶びを申し上げます。

本年も引き続き、当院の基本理念、“すべては患者さんと地域のために”を念頭に、皆様に信頼される病院を目指して努力してまいりたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、当院と同じ自治体病院の7割近くが、人口10万人以下の地域に存在しています。都市部と違いこうした地域では、患者数の減少や医師・看護師を始めとする医療従事者不足が深刻で、病院の存続、医療の確保が重要な課題となっています。人口減少とりわけ就労人口の減少は、今後より一層進むものと考えられており、少なくとも自治体病院のスリム化は不可欠な状況です。

当院においても病床数を令和6年度に30床、令和7年度に11床削減し現在139床です。患者さんの受入れに影響のない範囲での削減ですが、今後も、市内及び近隣の医療機関との機能分化や相互支援を推進し、診療体制の最適化を進めていく必要があると考えています。また、医療DX

の活用などについても研究し効率的な病院運営を進めてまいります。

道路や水道などと同じく医療も地域の重要なインフラであり、医療がなくては安全で安心な生活を送ることはできません。自治体病院としての矜持を持って、市民の皆様命と健康を守るため本年も尽力してまいりたいと思います。



## 受賞者の声

5階病棟看護師 <sup>たかはし かずよ</sup> 高橋 和代

このたび、岡山県病院協会 病院優良職員として表彰していただきました。

当院で24年間勤務できたのは、諸先輩方やスタッフの皆さん、そして家族の支えがあったからです。本当に感謝しています。

これからも、この感謝を胸に、自分自身の体調にも気をつけながら、地域の皆さんに安心して療養していただけるように、日々努力していきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。

5階病棟准看護師 <sup>なかほら かずみ</sup> 中原 和美

このたび、病院優良職員として表彰していただきました。

思い返してみれば、あつという間の25年間ではありましたが、大きな病気をすることもなく、病院スタッフ、そして家族の協力のもと、勤めてこられたことに感謝しています。

これからも初心を忘れず、感謝の気持ちを持って、安心で安全な医療を提供できるよう、日々努力していきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひいたします。

臨床検査技師 <sup>さとう ひろみ</sup> 佐藤 裕美

このたび、岡山県病院協会より病院優良職員として表彰していただきました。

産休育休をいただき、子育てをしながら、長く勤めてこられたのは、当院で共に働く皆さんや家族の協力があったからこそだと感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ発展途上で未熟者ではありますが、これからも日々研鑽に励み、少しでも、患者さんのため、当院のために貢献できるよう努力していきたいと思えます。これからもよろしくお願ひいたします。

## 資格取得 胃がん検診専門技師

主任放射線技師 <sup>こもり よういちろう</sup> 小森 陽一郎

胃がんは、日本で多く見られるがんの1つです。2020年（令和2年）の統計（国立研究開発法人国立がん研究センター）では、男性・女性ともに4番目に多いがんとなっており、男性ではおよそ11人に1人、女性ではおよそ24人に1人が一生のうちに胃がんになると推定されています。また、50歳前後から、特に男性で罹患率が高くなります。

胃がんになるリスクを高める要因としては、ピロリ菌感染による慢性的な胃粘膜の炎症や生活習慣（塩分の多い食事・喫煙・多量の飲酒）などがあげられています。

日本消化器がん検診学会では、胃がんを含む各種消化器がんを早期発見し、それら疾患の死亡率低減を実現するための検診事業の啓発・普及を行っています。このたび私は、高度な検診技術を学んだ上でしっかりとした検診マインドを持つ医師・メディカルスタッフを育成するための資格の一つである「胃がん検診専門技師試験」に合格しました。

岡山県内で胃がん検診専門技師として学会に登録されている診療放射線技師は、53名です（2025年（令和7年）7月1日現在）。これからも専門技師の名に恥じぬよう研鑽に励み、地域の皆さんの健康増進に尽力してまいります。



# 病院機能評価最高評価「S」を獲得(リハビリテーション科)

にしおか きよたか  
リハビリテーション科長 西岡 清隆

当院では、より良い医療を提供するために、5年に1度の期間で「公益財団法人 病院機能評価機構」による機能評価を受審しています。今回は 3rdG : Ver. 3.0 の基準での受審となり、前回以上に、病院機能を恒常的に発揮できているかが重視されました。

リハビリテーション科は前回の評価で A評価 (適切に行えている) をいただいていたのですが、その際、今後の課題として、リハビリテーション開始時の十分な説明、科内カンファレンスの充実、介入前後のADL (日常生活動作能力) データの活用などについて指導を受けていました。

今回の受審に向けて、これらの課題に科内全員で真摯に取り組んだ結果、「3.1.5 リハビリテーション機能を適切に発揮している」の項目で、当科として初めて S評価 (秀でている) をいただくことができました。リハビリテーション科一同、今回の評価が大きな励みになりました。

今後もこの評価を維持できるよう、業務改善とリハビリテーションの質のさらなる向上に努めていきたいと考えています。



## お知らせ

### 名札の変更

来院される皆さんに、職員をより識別しやすく安心してお声がけいただけるよう、職員の名札を見やすさと分かりやすさを重視したデザインに改善しました。

#### ■ 変更点

苗字 (ひらがな) を大きく表示し、ひと目で分かるようにしました。

苗字の上に「漢字表記」、下に「ローマ字表記」を記載しました。視認性向上のためレイアウトを調整し、顔写真の掲載をとりやめました。

役職名または職種を明記して、担当を分かりやすくしました。

#### ■ 職種ごとの色分け

色で担当部門が分かるようになっていきます。

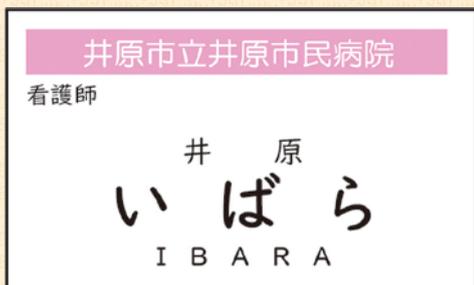
青 …… 医師

ピンク …… 看護部

黄 …… 医療技術部

緑 …… 事務部

紫 …… 研修医



### 新興感染症への備えについて

2024年(令和6年)4月、新興感染症が発生・まん延した際に医療提供体制が確保できるよう、県と医療機関との間で事前に「医療措置協定」を締結する仕組みが法律で定められました。この協定では、未知の感染症が広がったときに、どのような医療対応を行うかを県と医療機関で事前に体制を整備しておくもので、当院においては同年5月に締結しています。

このたび、その体制整備の一環として、以下の場所へパーティションを設置しました。今後も引き続き、患者さんが、より安心して受診していただける環境づくりに努めてまいります。

#### ■ 設置場所

- ・ 1階 中庭横の発熱待合スペース
- ・ 1階 内視鏡待合室
- ・ 1階 入退院支援室



# 半日ドック検査メニュー紹介

料金：33,000円 (税込み)

検査項目		関連疾患	
問診・診察	胸部聴診・頸部・腹部触診 など	胸腹部疾患，甲状腺疾患	
身体測定	身長・体重・腹囲	肥満，メタボリック症候群	
生理検査	血圧測定・心拍数・心電図検査	高血圧，不整脈などの心臓疾患	
視力検査	視力検査・眼底・眼圧	緑内障，糖尿病性網膜症，高血圧眼底などの眼疾患	
聴力検査	聴力	難聴	
肺機能検査	呼吸機能	気管支喘息，肺気腫 (COPD) など	
胸部X線	レントゲン撮影	胸部疾患 (肺がん，肺気腫)	
上部消化管 ※1	X線検査 (バリウム) または 上部内視鏡検査 (胃カメラ) ※2	胃潰瘍，胃がん 萎縮性胃炎 (ピロリ菌感染胃炎) 消化器疾患，胆石，肝がん，脂肪肝 腹部大動脈瘤	
腹部超音波検査	肝臓 (脾臓) ・胆のう・すい臓・腎臓・腹部大動脈 など	肝臓疾患，胆石，肝がん，脂肪肝 腹部大動脈瘤	
血液検査	肝臓系	総蛋白・アルブミン・AST (GOT) ・ALT (GPT) ALP・ $\gamma$ -GT ( $\gamma$ -GTP) ・総ビリルビン	肝炎，脂肪肝，栄養障害
	腎臓系	クレアチニン・eGFR・尿酸	慢性腎臓病 (CKD)，腎不全 痛風 など
	脂質系	総コレステロール・HDLコレステロール LDLコレステロール・中性脂肪・non-HDLコレステロール	高脂血症 (脂質異常症)，動脈硬化
	糖代謝	血糖 (空腹時) ・HbA1c	糖尿病
	血液学	赤血球・白血球・血色素・ヘマトクリット・血小板	貧血，白血病などの血液疾患
	感染症	CRP	炎症性疾患，感染症 など
尿	蛋白・尿糖・潜血 など	腎炎，慢性腎臓病 (CKD) 泌尿器疾患 など	
便	免疫法で実施 (2日法)	大腸がん	

## 【上部消化管検査】

- ※1 X線検査 (バリウム) から上部内視鏡検査 (胃カメラ) へ変更できます。  
胃カメラをご希望の場合、追加料金として3,300円を頂戴いたします。  
**変更をご希望の方は、予約時にお申し出ください。**  
人数に限りがございますので、ご希望に添えない場合があります。ご了承ください。
- ※2 上部内視鏡検査 (胃カメラ) 時に鎮静剤を使用することができます。  
鎮静剤をご希望の場合、追加料金として1,100円を頂戴いたします。  
鎮静剤の使用により、人によっては半日くらい眠気やフラフラ感が続きますので、  
**検査当日は、絶対に車・バイク・自転車の運転はしないでください。**  
ご希望の方は、予約時に必ずお申し出ください。  
人数に限りがございますので、ご希望に添えない場合があります。ご了承ください。

- お電話にてお申し込みください。
- ご連絡先：井原市立井原市民病院 ドック・健診部  
**0866-62-1133 (代表)**  
【受付時間】月～金曜 (祝日を除く) 13:00～17:00

## ● 学会発表

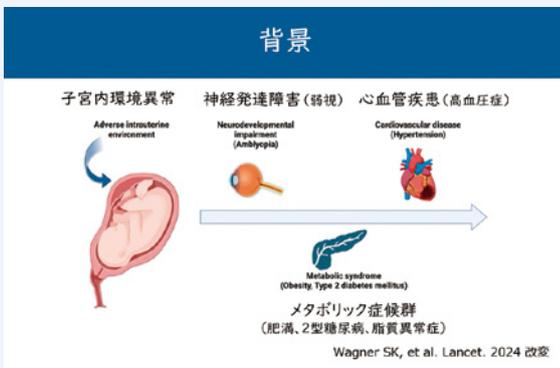
### 第79回日本臨床眼科学会

開催日：2025年（令和7年）10月9日～10月12日  
場所：大阪国際会議場

第79回日本臨床眼科学会にて、「片眼弱視の経験がある成人における生活習慣病の有病率」について発表しました。

子どもの頃、よい視覚体験が得られると、脳の視覚をつかさどる部分がしっかり発達し、視力も向上します。ところが、この発達の大切な時期に、遠視・近視・乱視といった屈折異常、左右の目で度数が大きく異なる不同視、斜視、白内障、眼瞼下垂などが治療されずに放置されると、視力の発達が妨げられます。その結果、一生涯、眼鏡やコンタクトレンズを使っても十分な視力が得られない「弱視」という状態になります。

近年、弱視の発症には、これらの眼の問題だけでなく、妊娠中の母体の状態や遺伝子も関係していることが分かってきました。また、妊娠中の環境は、将来の高血圧・心筋梗塞・糖尿病・脂質異常症・肥満などの発症にも影響することが報告されています。



さらに昨年、英国で行われた大規模研究では、子どもの頃に片眼弱視だった方は、大人になってから高血圧・心筋梗塞・糖尿病・肥満を発症しやすいという結果が、医学誌 Lancet に掲載されました。

そこで今回、当院を受診された片眼弱視の方々について、肥満・高血圧・糖尿病・脂質異常症のなりやすさを調査しました。その結果、成人後に脂質異常症を発症しやすい傾向は見られたものの、肥満・高血圧・糖尿病については、日本人全体と大きな差は認められませんでした。

本研究にご協力いただいた皆さんに、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



医療技術部長  
眼科医長  
きしもと ふみこ  
岸本 典子

## ● 学会発表・座長

### 第66回日本視能矯正学会

開催日：2025年（令和7年）10月25日～10月26日  
場所：岡山芸術創造劇場ハレノワ

視能\*矯正学会は視能に関する研究結果や臨床報告を発表する学術集会で、年に一度、医師や視能訓練士が日本中から一堂に会します。今回は、2008年（平成20年）以来、17年ぶりとなる岡山県での開催で、さらに、会場が2023年（令和5年）にオープンしたばかりの岡山芸術創造劇場ハレノワだったこともあり、多くの参加者で大変な賑わいでした。

私は、口演発表「斜視」の座長を務めるとともに、口演発表「屈折」で研究成果を発表しました。

私が座長を務めた「斜視」のセッションでは、斜視の検査、診断から治療、そして加齢に伴う斜視の変化まで、多岐にわたる4演題が発表されました。それぞれの演題に対して、時間内に収まらないほど活発な討論が行き交い、多くの医師や視能訓練士の熱意を肌で感じることができました。

私が発表した演題は「不適切な屈折矯正と固視ずれ」です。この研究では、左右の視力に差がある場合に、見ている対象物に対して両眼の視線が正確に向いているかを解析しました。その結果、左右の視力が同等であれば、両眼の視線が対象物に正確に合っていましたが、視力に差がある場合には、対象物が一つに見えているにもかかわらず、両眼の視線に微小なずれが生じることが判明しました。この研究で用いた、両眼で対象物を単一視する機能の精度を評価するための指標である「固視ずれ」の報告は、日本ではまだ少数です。私は今回の発表を通じて、今後もこの分野の研究を発展させていく必要性を感じました。

座長という貴重な機会をいただいたことに感謝しつつ、視能訓練士として、さらなる研鑽の必要性を実感した学会となりました。

※ 視能：視（みる）能（ちから）を表し、視覚にかかわる能力を総称した用語です。

主任視能訓練士 藤井 千晶



## 第59回日本作業療法学会

作業療法士 <sup>さの ひろかず</sup> 佐野 裕和

開催日：2025年（令和7年）11月7日～11月9日

場所：サンポートホール高松

本学会において「作業療法学生の職業的アイデンティティ形成におけるMTDLP<sup>※</sup>を用いた臨床実習の影響-ケースシリーズによる検討-」というテーマでポスター発表しました。本報告では、他事業所の協力者とともに取り組んだ作業療法学生の臨床実習を通じた職業的アイデンティティの変化について報告しました。職業的アイデンティティとは、その職業領域における自分らしさの感覚のことを指します。研究の結果、学生が作業療法の8週間の臨床実習で「生活行為向上マネジメント」という対象者の価値のある生活行為に焦点を当てた実践に関する段階的な経験を経ることで、作業療法士としての意識や自信が高まることになりました。



また、「脳血管疾患等10」のセッションで座長を務め、演者の発表内容がより深まるよう、活発な意見交換を促しました。全国学会での初めての座長ということで緊張しましたが、大変貴重な経験となりました。本学会は、私自身の職業的アイデンティティを考える機会にもなりました。今後もより良い作業療法ができるよう努力を続けていきたいと思えます。

※ MTDLP（生活行為向上マネジメント）：Management Tool for Daily Life Performance

作業療法において、「その人らしい生活の再獲得」を中心に、評価・目標設定・練習・再評価を一体的に進める支援方法。

## ● 岡山県自治体病院看護管理者研修会

副院長 兼 看護部長 <sup>みやけ いずみ</sup> 三宅 泉

開催日：2025年（令和7年）11月14日 場所：平櫛田中美術館

副看護部長 <sup>やなぎもと あゆみ</sup> 柳本 亜由美

このたび、井原市にて岡山県自治体病院看護管理者研修会を開催しました。本研修会は、県内自治体病院が一致協力し、病院事業の発展と看護管理者同士の交流を深めることを目的としています。



当日は、井原市病院事業管理者であり岡山大学名誉教授の齋藤信也先生よりご講演をいただき、その後、各病院から近況報告を行いました。活発な意見交換が行われ、参加者にとって有意義な学びと交流の場となりました。厳しい経営環境や人材確保の課題が続く中、病院間の連携と職員同士のつながりの重要性を再確認する機会となりました。今後も地域に根ざした医療の提供を力強く進めてまいります。

## ● おかやまマラソン救護ボランティア

内視鏡室看護師 <sup>はばら のりこ</sup> 羽原 典子

開催日：2025年（令和7年）11月9日

4階病棟看護師 <sup>やまだ みなこ</sup> 山田 美菜子

外来看護師 <sup>ささき ゆき</sup> 佐々木 優貴

今回は当院から3名の看護師が「おかやまマラソン2025」に救護ボランティアとして参加しました。おかやまマラソンは全国から約1万6千人のランナーが集まる大きな大会です。前年に救護ボランティアを務めた当院のスタッフが、心肺停止のランナーに遭遇していましたので、緊急時の連絡体制や心肺蘇生法について入念に確認して臨みました。

当日は朝から冷たい雨が降っていたので、私たちはメディカルスタッフ用ウェアの下にカップを着込んで準備を整えました。活動場所となる19km地点には早めに集合し、救護所の設置、備品の確認、スタッフの顔合わせ、写真撮影などを行いました。午前8時45分にランナーが一斉にスタートし、私たちも沿道で応援しながら見守りました。

市民ランナーが通過する頃になると、救護を必要とする方が徐々に増えはじめました。幸いにも、私たちが対応したのは、筋肉・関節痛、軽度の脱水、転倒による擦り傷など比較的軽症が中心で、保温や創部の消毒を行いました。理学療法士からストレッチを受けて再び走り出す方、低体温や痛みでリタイアされる方もおられる一方で、マリオやドラえもん、スーパーマンなどの仮装で爽やかに走り抜けるランナーもおられ、走るだけでなく周囲を楽しませようとする心意気が本当に素敵だと感じました。特に、苦しいながらも沿道の声援に笑顔で手を上げて応えるランナーの姿は印象的で、応援しながら胸が熱くなる場面も多かったです。

私たちの救護所では、幸い生命に関わるような重篤な事案はありませんでしたが、ゴール直前の地点では、心肺停止となった方が医療チームの迅速な処置によって救命されたと知り、ランナーを支える役割の重みを改めて感じる貴重な経験となりました。

初めてのことも多く戸惑う場面はありましたが、周囲のスタッフに温かく支えていただき、無事に任務を終えることができました。ランナーの皆さん、大会関係者の皆さん、本当にありがとうございました。普段は何気なく参加していたマラソン大会も、多くの方々の準備と支えによって安全に運営されていることを実感し、この学びを今後の看護に生かしていきたいと思えます。



# 学生実習

## ☑ 医療体験実習

2025年（令和7年）9月29日～10月3日

岡山大学 医学部 医学科3年生 <sup>きたむら しもん</sup> 北村 志門

このたびは、地域医療実習生として受け入れていただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、とても充実した1週間を過ごすことができました。普段の座学では得られない、かけがえのない経験をさせていただきました。

医師の先生方をはじめ、看護師の方々、患者さん、多くの職員の皆さんの支えにより、実りある実習となりました。外来や手術の見学の際には、お忙しい中にもかかわらず、私の質問に丁寧に答えてくださり、とても嬉しく思いました。また、大学のカリキュラムにはない訪問診療やケアハウス訪問など、病院外での実習も経験でき、大変貴重な学びとなりました。先生方の姿勢からは、将来自分が医師になったときのあるべき姿を学ぶことができました。一方で、自身の知識不足も痛感しました。この経験を糧に、今後はより一層勉学に励み、患者さんやスタッフの皆さんから信頼される医師になれるよう努力します。実習で関わってくださったすべての方々のご厚意に、心より感謝申し上げます。

岡山大学 医学部 医学科3年生 <sup>おかだ そういち</sup> 岡田 颯一

このたびは地域医療実習でお世話になり、誠にありがとうございました。井原市民病院では、各科の外来見学や手術見学、ケアハウス訪問など、充実したプログラムを準備していただき、大変貴重な経験をさせていただきました。医師の先生方をはじめ、看護師、理学療法士、事務の皆さんまで温かく迎えてくださり、恵まれた環境の中で学ぶことができました。診察の合間にも丁寧に疾患や診察のポイントを教えていただき、実践的な学びが多く、今後のモチベーションにもつながりました。地域に密着した病院の姿勢や井原市の魅力にも触れ、この病院と地域がとても好きになりました。心より感謝申し上げます。



## 救急救命士実習

井原地区消防組合 井原消防署第2係 消防士 <sup>わたなべ たくや</sup> 渡邊 拓也

病院実習では、大変お世話になりました。今回の実習では、救急搬送後に患者さんがどのような流れで診察や検査、治療を受けているのかを知ることができました。普段は現場で活動し、病院へ引き継いだ後の経過を見る機会が少ないため、実際の対応や流れを理解できたことはとても勉強になりました。搬送時に行っている観察や報告が、その後の診療や判断につながっていることを改めて実感しました。また、実習を通して、救急隊と病院との連携がさらに重要になると感じました。

今回の経験は、自身の活動を振り返る良い機会となり、現場での観察や報告の仕方を見直すきっかけにもなりました。今後の救急活動に生かしていきたいと思えます。



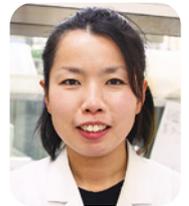
医療機関内では  
マスクの着用をお願いします！

マスクの着用は個人の判断に委ねられることになりましたが、医療機関を受診する時や訪問する時はマスクの着用が推奨されています。ご高齢の方や重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、引き続きみなさんのご協力をお願いいたします。



# 新年から始める「減塩生活」 寒い時期に注意したいこと

しっかりと味を染み込ませた煮物、こってりとした煮込み料理、たくさん収穫した野菜で作った漬物など、冬の食卓には食塩を多く含んだ料理がたびたび登場します。日本人は1日の食塩摂取量の約7割を調味料から摂取していると報告されています。特に和食を召し上がる機会が多い方の味付けは、しょうゆやみそとは切り離せません。気をつけているつもりでも、実際には、塩分が過剰になっているかもしれませんので、**調味料に含まれる食塩**には注意が必要です。そこで、普段使っている調味料に、どのくらいの食塩が含まれているのかを知っておくと、減塩に取り組みやすくなります。



主任管理栄養士  
たけもと なつ  
竹元 夏

小さじ1杯の調味料に含まれる食塩量はどのくらいでしょうか。小さじ1杯の量をイメージできますか？  
小さじ1杯は5ccで、ペットボトルのふたの約8分目の量です。「食塩小さじ1杯は6g」です。「しょうゆ小さじ1杯の食塩は約1g」ですが、「ポン酢しょうゆ小さじ1杯の食塩は0.5g」、「マヨネーズ小さじ1杯の食塩は0.1g」です。焼き魚にしょうゆをかける場合、しょうゆの一部を酢やレモン汁、おろし生姜などの食塩を含まないものに置き換えると、しょうゆの使用量が減り、食塩を減らすことができます。

日本人は塩味が好きなので、減塩するということは自分の味覚を変えることになります。ケチャップ（小さじ1杯の食塩0.2g）やウスターソース（小さじ1杯の食塩0.5g）、バター（小さじ1杯の食塩0.1g）などで味を変えてみるのも新しい発見がありそうです。塩、みそ、しょうゆ以外の味覚が楽しめるのが良いですね。

## 減塩レシピのご紹介 **豚肉と野菜のカレー炒め** 〈1人分 65kcal 塩分 0.5g〉



材料・2人分  
(小鉢の量)

- |                 |   |                 |
|-----------------|---|-----------------|
| 豚肉 …………… 30 g   | ☆ | カレー粉 …… 小さじ 1/4 |
| ピーマン …………… 1 個  |   | みりん …… 小さじ 1/2  |
| 人参 …………… 1/4 本  |   | 醤油 …………… 小さじ 1  |
| 玉ねぎ …………… 1/2 玉 |   | 油 …………… 小さじ 1 弱 |

作り方

- ① 豚肉と野菜は食べやすいお好みの切り方で切る。  
例：人参短冊切り、玉ねぎはくし型切りなど
- ② フライパンを熱し、油をひいて豚肉に火が通るまで炒める。
- ③ 豚肉に火が通ったら人参と玉ねぎを加えて炒め、やわらかくなったらピーマンも加えて炒める。
- ④ 野菜が柔らかくなるまで加熱したら、☆の調味料を合わせて加え、全体に味が絡むように炒める。

### ◆ポイント◆

- ・野菜はご自宅にあるものに変えていただいても結構です。キャベツ、きのこと類なども美味しくできます。
- ・カレールーではなくカレー粉を使用していますので、塩分は控え目でも食欲をそそる味付けになります。
- ・豚肉はなくても結構ですが、加えるとタンパク質の補給になります。鶏肉に変えても美味しくできます◎

# 子宮頸がんゼロの未来へ！ —あなたの行動がカギになる—

子宮頸がんは、子宮の入り口にあたる子宮頸部に発生するがんで、日本では毎年約1万人が新たに診断され、約3,000人が亡くなっています。特に20～40代の若い世代で増加しており、妊娠・出産や仕事、子育てなど、人生の大切な時期に影響を及ぼす病気です。しかし子宮頸がんは、**予防が可能ながん**でもあります。

子宮頸がんの主な原因は、HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染です。HPVは性行為を通じて感染しますが、ほかの感染症と異なるのは、ほとんどの人が一生に一度は感染するという点です。感染しても多くの場合は自然に排除されますが、一部では感染が長く続き、数年から十数年かけて前がん病変を経て、子宮頸がんへと進行することがわかっています。

子宮頸がん予防の柱となるのが、**HPVワクチン接種と子宮頸がん検診**です。HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となる高リスク型HPVの感染を防ぐワクチンで、特に若い年齢で接種することで高い予防効果が期待できます。現在、日本では小学校6年生から高校1年生相当の女子を対象に定期接種が行われており、対象年齢の方は公費で接種することが可能です。自費にはなりますが（3回接種で約10万円）、定期接種以外の年齢で接種することも可能です。ライフスタイルに合わせた接種時期を選ぶこともできます。子宮頸がん以外のがんにも関係しており、男性への接種に補助をしている自治体もあります。

一方で、ワクチンですべての子宮頸がんを防げるわけではありません。そのため、**定期的ながん検診**が重要です。HPVワクチンを接種できなかった方や接種しないことを選んだ方には、特に重要になります。子宮頸がんは



岡山大学病院 産科婦人科  
岡山大学学術研究院 周産期・小児救急医療学講座

おがわ ちかこ  
小川 千加子



初期にはほとんど症状がないため、20歳以上の女性は2年に1回、子宮頸がん検診を受けることが推奨されています。検診により、がんになる前の異常を早期に発見し、治療につなげることができます。婦人科診察にはなかなか足が向きにくいものです。「がん検診、行ってる?」、その声かけが誰かの勇気につながります。

ちなみに井原市のがん検診は手厚く、子宮がん検診を毎年受けることができます。当院では一般的ながん検診に加え、婦人科超音波検査をオプションで格安でご提供しています。ぜひご利用ください。

**一人ひとりの行動が、子宮頸がんゼロの未来をつくります。**

正しい知識を持ち、ワクチンと検診を上手に活用し、ご自身と大切な人の健康を守っていきましょう。





# 産科セミオープンシステム ～妊婦健診を行っています～

当院では、2006年（平成18年）8月から産婦人科常勤医の退職に伴い、分娩の休止を余儀なくされ、妊婦の受け入れを停止していました。このため井原地域の皆さんには、隣接する福山市など近隣の病院や医院まで足を運び、妊婦健診・出産をせざるを得ない状況が続いておりました。

しかし、井原市在住の妊婦の皆さんが**地元地域で妊婦健診**を受けることができ、緊急時に受診可能な連携体制を整備するため、地域における効果的な産婦人科医療体制について検討を行い、産科セミオープンシステムを開設しています。

このシステムでは、妊娠初期より**妊婦健診は当院で受診**し、妊娠33週以降の妊婦健診や分娩を分娩施設のあるクリニックや病院、周産期センターで行っていただくことで、分娩の安全性と妊婦の皆さんの利便性を保ちながら、それぞれの医療機関の特性を生かした役割分担が可能となるものです。

○妊婦健診日時：毎週月曜日と水曜日

受付時間9:30～14:30

※上記時間以外の緊急受診の場合は、分娩予定の施設へご相談ください。

## 医療情報

# お口の話



歯科衛生士  
ひだに まこ  
日谷 真子



## 唾液のチカラ！

私たちには生まれた時から常に口の中に**唾液**があります。あまりに身近なので、普段はその存在を意識することもないかもしれませんが、当たり前にあるその唾液が人間の健康にとって重要な役割を持っているのです。

皆さんは、そもそも唾液が何からできているのかご存じでしょうか？実は「**血液**」がもとになって作られているのです。水分を摂取すると骨髓で血液がつくられ、その血液が唾液腺で唾液に作りかえられます。唾液は99%が水分で、残りの1%ほどに酵素や抗菌、免疫や消化などに関わる様々な成分が含まれています。

唾液の働きは口の中を潤すだけではないのです。

唾液には、図のようにたくさんの働きがあり、無意識の間に口の中や全身を守ってくれているのです！

健康な成人は、1日あたり平均0.5リットル～1.5リットルもの唾液を分泌しています。1日のうちでも唾液の出る量は変化していて、特に夜になると唾液の分泌量は減少します。そのため唾液の作用と機能も夜間には低下してしまうので、口腔内の細菌が増えやすくなります。

唾液には、口を通して外部から入ってくる細菌やウイルスなどから体を守るための**免疫機能**という重要な働きもあるので、**夜寝る前と朝起きてすぐの口腔ケア**はとても大切なのです！また、よく噛んで食べたり、こまめに水分を補給したり、口の周りのマッサージをしたりなど、日々、ゆったりとした気持ちで過ごすことを日常生活の中で取り入れてみるといいですね。

## 唾液の効果

### ◆消化作用

唾液の酵素アミラーゼが食べ物に含まれるデンプンを分解するのでよく噛むほど消化吸収がよくなります。



### ◆自浄作用

歯や舌の表面に付いた食べ物のかすや、細菌などを洗い流しています。



### ◆PH緩衝作用

食べ物が口に入ると口の中は酸性に傾きます。唾液は口内の酸を中和しています。



### ◆再石灰化作用

飲食により酸が歯の表面を溶かして虫歯の芽を作ります。唾液は溶けかけた歯の表面を修復して虫歯を防いでいます。



### ◆溶解・凝集作用

味を感じさせ噛み砕いたり、噛んで細かくなった食べ物を飲み込みまとめやすくするのも唾液の役割です。



### ◆抗菌作用

唾液には抗菌作用のある成分が、細菌の増殖を抑えて感染を防ぎます。



### ◆潤滑作用

唾液によって口が適度に潤っていると、口が滑らかに動き、発音するのが楽になります。



### ◆粘膜修復作用

口の乾燥を防いだり、刺激で口の中が傷つくとを防いでいます。





## 糖尿病教室

### 糖尿病と運動療法

2025年(令和7年)10月7日

#### レジスタンス運動とは・・・

- 筋肉トレーニング
- 筋肉の収縮に対して、一定以上の抵抗をかけて行う運動です
- 筋肉量を増やし、筋力を強めます
- とくに、運動機能の**老化防止**に効果があります



ただし・・・

呼吸を止めて行うようなきつい運動は、  
血圧上昇のおそれがあり、注意が必要です

公認社団法人 日本糖尿病協会

#### 有酸素運動とは・・・

- 体に十分な酸素を取り込んで行う運動です
- 主に糖と脂肪を消費します
- 疲れにくいので、長時間の運動が可能です
- とくに、**肥満対策**に有効です
- 代表的なものは **歩行=ウォーキング** です



ただし・・・

きつい運動は、血糖や血圧が上昇する  
おそれがあり、注意が必要です

公認社団法人 日本糖尿病協会

糖尿病の治療には、食事療法・薬物療法・運動療法の3本柱があります。運動を行うと、筋肉がブドウ糖を取り込むことによって血糖コントロールが改善します。また、心血管疾患のリスクとなる肥満・内臓脂肪の蓄積の改善効果やインスリン抵抗性の改善効果があります。

運動には、**有酸素運動**（歩行やジョギングなど）と**レジスタンス運動**（スクワットやマシントレーニングなど）があります。両方とも血糖コントロール効果が期待できますが、なかなか習慣化するのには難しいという方も多いかと思われます。

上記の“運動”だけでなく、家事活動や買物、農作業、草取り、日常生活での屋内移動など、安静にしている以外の時間を“**生活活動**”と呼びますが、この活動量を増やすことも血糖コントロールには重要です。

食後、座位時間が30分を超えたら3分程度散歩するだけでも、食後高血糖が改善するという報告があります。反対に日常で座っている・横になる時間が長いほど2型糖尿病や死亡率、心血管疾患リスクが増加することが研究で示されています。

寒い季節になってきて、活動量が減ってくる方も多くなる時期ですが、ぜひ日常の“生活活動”を意識して増やし、健康に日々を過ごせるよう取り組んでみてはいかがでしょうか。



理学療法士  
たき たかのり  
**瀧 尊宣**

### 糖尿病の合併症、検査と自己チェック

2025年(令和7年)11月5日

糖尿病の合併症は、初期には自覚症状が乏しく、気付かないまま進行するのが特徴です。糖尿病の方では、高血糖により血管の内皮に傷が付き、**動脈硬化**が起こってきます。また、長年高血糖状態が続くと、**神経障害・網膜症・腎症**などの三大合併症が進行していきます。

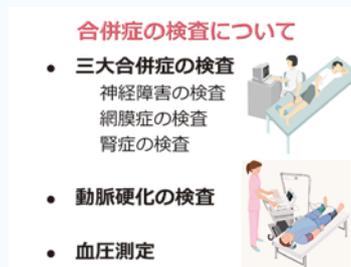
今回は、合併症を早期に発見するための『自分で行えるチェック方法』と『病院（人間ドック）で行う検査』について説明しました。

#### 1) 自分で行えるチェック方法

- ① 血圧・体重測定
- ② 足（色・しびれや痛みの有無 など）
- ③ 尿（におい・色・回数 など）の観察
- ④ 試験紙による尿検査（タンパク・糖）

#### 2) 病院（人間ドック）で行う検査

- ① 動脈硬化の検査：血管内皮機能検査（FMD）、血圧脈波測定（ABI／CAVI）、血管超音波検査
- ② 神経障害の検査：神経伝導速度検査（運動・感覚神経の検査）、心拍変動計数（自律神経の検査）
- ③ 網膜症の検査：眼底写真
- ④ 腎症の検査：血液検査（腎機能）・尿検査（尿タンパク）、腹部CTや超音波検査などの画像検査



主任臨床検査技師  
いでらはら ひろみ  
**出原 啓美**

糖尿病は、早期に発見して治療を開始することで、合併症の進行を遅らせることができます。放置して手遅れにならないよう、自分の体をチェックしてみてください。



**糖尿病網膜症**は、糖尿病の代表的な合併症の一つです。この疾患は自覚症状がないまま進行し、症状が出た時には増殖網膜症という失明の危険がある重篤な状態に至っていることがあります。また、高血糖が続くと、20～30歳代の若年層でも、加齢性とは異なる性質の**糖尿病性白内障**を合併することがあります。この白内障は進行が速いのが特徴です。白内障が進行すると、網膜症の進行具合の正確な判断が難しくなるという問題も生じます。

今回の糖尿病教室では、これらの目の合併症について、図や写真を交えて解説しました。また、見え方の自己チェックとして「ゆがみ」「かすみ」「視野の欠け」などがないかを確認していただきました。

失明という最悪の事態を防ぐためにも、日頃から自分の目に関心を持ち、糖尿病と診断されたら、早期発見・早期治療のために定期的に眼科を受診することが大切です。



主任視能訓練士  
藤井 千晶

## 子どもの保健医療研修会

毎月1回開催している『子どもの保健医療研修会』の2025年(令和7年)10月～12月までの内容をお知らせします。

10月17日(金)は、「発達障がいとは～気になる子どもへの理解とかかわり方を中心に」と題して、保育士や幼稚園教諭の方たちを対象として、子どもの成長と発達の評価について、そして“ちょっと気になる子どもへの対応”について、お話をしました。近年、発達障がいについて、医学的診断から対応、教育、社会生活にいたるまでの支援の在り方などについて、多くの参考書が発刊されています。ただ、SNSも含めて、あまりにも多くの情報にさらされて混乱し、子どもたちの個性や特性を発達障がいと決めつけることは避けなければなりません。今回は、子どもたちの不定愁訴(身体的な疾患ではないのに、おなかが痛い、頭が痛い、だるいなどの訴えが続くこと)やうつについてもとりあげ、家庭生活の重要性、特に睡眠時間を十分とることの大切さについても『早寝、早起き』ではなく『早起き、早寝』が大切であること強調しました。

11月14日(金)には、「アレルギー疾患の基礎病態」をテーマとして、園や施設で子どもたちの食事やおやつを提供する際に、いつも気を付けておられる保育士や幼稚園教諭そして子育て支援者の方々を対象として、食物アレルギーを中心に、私たちの体の中で起こるアレルギー反応の病態をわかりやすく説明しました。花粉症(アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎)、アトピー性皮膚炎、気管支喘息などの症状、治療などについてもお話ししました。アレルギー反応で最も注意すべきものはアナフィラキシーといわれる反応で、急激にショック状態に陥ることがあり、誘因となる食べ物がある場合は、注意が必要で、園や施設では、保護者との連携と職員全員の情報共有が不可欠となります。



12月17日(金)には、「睡眠とこころ・からだ、そしてこどもたちとメディア」と題して、子どもたちを取り巻く社会環境、特にメディアについてお話をしました。TVや新聞といったマスメディア、そして、SNS、スマホ、ネット、ゲームといったものに取り巻かれて生活している現代社会で、子どもたちの健全な心身の成長・発達を守らなければなりません。ネット・ゲーム依存症と診断され、治療が必要とされる青少年(もちろん大人も!)も決して稀ではありません。様々なメディアとの付き合い方について話題提供を含めてお話ししました。

井原市民病院『子どもの保健医療研修会』は毎月1回(基本的に第3金曜日の14:00～16:00に)開催しています。参加ご希望の方は井原市民病院事務部総務課までお問い合わせください。個別相談も可能です。



新見公立大学副学長  
岡山大学名誉教授  
小田 慈

お知らせ

■ **糖尿病教室** (毎月第1火曜日11時30分～ 玄関ロビー)

3/3 火 担当: 内科医師

※業務等の都合により講師や内容を変更・中止する場合があります。最新の情報については、当院のホームページ等でご確認ください。



# 外来診療担当医表

2026年(令和8年)2月1日現在

診療科		受付時間帯	月	火	水	木	金	備考
内科	午前 初診(予約外) 再来(予約)	8:30~11:00	吉澤	栗山	島田(予約有)	立古	立古	※1 肝臓内科
			岡大 山本	高見(予約有)	高見(予約有)	高見	吉澤	
	午後	予約のみ	栗山	島田	栗山	島田	島田	
循環器内科	午前	8:30~11:00	岡大 福田	ペースメーカー 外来	徳永	予約 徳永	徳永	急患の受付時間に関しては、左記の限りではありません。
	午後	13:00~15:00			徳永		徳永	
呼吸器内科	午後	13:00~15:00	福山市民応援医師 (第1・3)					医師の都合によりしばらくの間、 休診とさせていただきます。
神経内科	午前	8:30~11:00 予約のみ					岡大 中田(第1・3) 倉敷平成 菱川(第2・4)	
	午後	予約のみ					岡大 中田(第1・3) 倉敷平成 菱川(第2・4)	
糖尿病内科	午後	予約のみ			川大 森		川大 古味	
消化器外科 外	午前	8:30~11:30	小林 杉生	前田 杉生	前田 小林	前田	小林 岡大 近藤	※2 呼吸器外科  午後は手術日になる可能性があります。 受診希望の際は電話でお問 い合わせください。※3 血管外科
	午後	13:00~15:00	※3 川大 田村(第1・3・5)	岡大 實金	担当医	担当医	岡大 近藤 手術日	
乳腺外来	午前	予約のみ	岡大 中本					月曜日の診療時間は10:00~ 12:30となります。木曜日以外 となる場合があります。
	午後	予約のみ				岡大 松岡(隔週)		
整形外科	午前	8:30~11:30	予約 平田	予約 平田	予約 平田(第2・4) 予約 岡大 石丸 (第1・3・5)		予約 平田	
	午後		手術日			手術日		
脳神経外科	午前	8:30~11:30			川大 福原			
	午後	13:30~16:00	川大 目黒(第1・3・5)					
眼科	午前	8:30~11:30	岸本	岸本	岸本	岸本	岸本	木曜日・第1金曜日の受付時間 は11:00までとなります。斜視・ 弱視の診療は予約が必要です。
	午後	予約のみ	検査 岸本	弱視・斜視外来 大月・岸本	手術日		検査 岸本 (第2・3・4・5)	
小児科	午前	8:30~11:30	井上	井上	井上	井上	井上	福山市民応援医師による診療は しばらくの間休診とさせていた だきます。
	午後	13:30~16:00 予防接種(月・木)	井上/福山市民応援医師 予約[予防接種] 受付時間 13:30~15:30	井上(15:00~16:00) 予約[乳児検診] 受付時間 14:00~15:00		予約[予防接種] 受付時間 13:30~15:30		
耳鼻咽喉科	午前	8:30~11:30	岡大 岡野(第1) 岡大 井口 (第2・3・4・5)		岡大 浦口			一般診療は予約無しでも受け付け ますが、予約優先です。
	午後	13:00~14:00	岡大 岡野(第1) 岡大 井口 (第2・3・4・5) 補聴器相談(第2・4)		岡大 浦口			
産婦人科	午前	8:30~11:30	予約 岡大 小川		予約 岡大 増山			一般診療は予約無しでも受け付け ますが、予約優先です。ただし第 2水曜日午後は休診となります。
	午後	予約のみ	予約 岡大 小川		予約 岡大 増山			
泌尿器科	午前	8:30~11:30	龍治		龍治	龍治	龍治	一般診療は予約無しでも受け付け ますが、予約優先です。
	午後	予約のみ	龍治		龍治	龍治		
皮膚科	午前	8:30~11:30		川大 鈴木			川大 中元	一般診療は予約無しでも受け付け ますが、予約優先です。
	午後	13:00~14:00		川大 鈴木			川大 中元	
リハビリテーション科	午前	8:30~11:30	予約 中角(月2回)		予約 岡大 派遣医師			
ドック・健診	午前	8:30~11:30	檀上	檀上	森崎	栗山	檀上	
救急科	午前						岡大 小崎	
	午後						岡大 小崎	
禁煙外来	午前	完全予約制	予約 中角(月2回) 診療時間 11:00~12:00					
内視鏡検査	午前	胃(上部)	島田 高見	八木 小林	岡大 赤穂 杉生	チカ/外科応援医師 杉生	栗山 岡大 田口	
	午後	大腸(下部)	岡大 山本	八木	岡大 赤穂	チカ/外科応援医師	岡大 田口	
放射線科	午前		○	○(岡大 松井)	○	○	○	
	午後		○(岡大 富田)	○	○(岡大 檀垣)	○(岡大 平木)	○(岡大 荻野)	

■自動再来機の受付時間 8:00~

■診療時間 午前/9:00~(産婦人科、耳鼻咽喉科 第2・3・4・5月曜日のみ 9:30~) 午後/13:00~(脳神経外科13:30~、小児科14:00~)

■休診 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12/29~1/3) ■電話予約 月曜日~金曜日 13:00~17:15 ※ただし、急患の場合はこの限りではありません。



井原市立井原市民病院  
〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地  
TEL 0866-62-1133(代) FAX 0866-62-1275(代)  
ホームページ <http://www.ibarahp.jp/> 電子メール [byoin@ibarahp.jp](mailto:byoin@ibarahp.jp)

2026年(令和8年)2月発行  
発行責任者: 院長 前田 徹也